

件名	平成 24 年度国民健康保険の決算状況（速報値）について				
経緯	県内 27 市町村及び 1 国民健康保険組合の平成 24 年度の国民健康保険の決算状況をまとめたものである。（参考 1 国保組合 = 山梨県医師国民健康保険組合）				
内	平成 24 年度の決算状況は、次のとおり。（単位：千円）				
	区 分	平成 24 年度	対前年度増減		平成 23 年度
	歳入総額 A	99,834,511	3.3%	3,228,575	96,605,936
	歳出総額 B	97,533,793	3.0%	2,854,650	94,679,143
	歳入歳出差引（形式収支）(A-B)C	2,300,718	19.4%	373,925	1,926,793
	国庫負担金等精算額 D	1,104,923	0.1%	1,563	1,103,360
	実質収支 (C+D)E	1,195,795	45.2%	372,362	823,433
	前年度実質収支 F	823,433	-	-	208,465
	単年度収支 (E-F)G	372,362	-	242,606	614,968
	一般会計等からの繰入等 H	2,778,881	22.4%	507,830	2,271,051
	財政調整基金への積立金 I	352,624	128.3%	198,174	154,450
実質単年度収支(G-H+I)J	2,053,895	36.8%	552,262	1,501,633	
四捨五入により不一致の場合がある					
財政調整基金保有額	2,757,129	2.9%	82,639	2,839,768	
容	形式収支（歳入総額から歳出総額を差し引いた額）は、23 億 71 万円余の黒字となり、甲府市を除く 27 保険者が黒字であった。				
	実質単年度収支（一般会計からの法定外繰入れ、財政調整基金の取崩し・積立てなどを加減した額）は、20 億 5,389 万円余の赤字となり、赤字額は前年度と比較して 5 億 5,226 万円拡大した。実質単年度収支が黒字である保険者は 5 保険者で、前年度より 2 保険者減少した。				
	歳出の 2/3 を占める保険給付費が前年度と比較して 2%余増加し、後期高齢者支援金、介護納付金についても大きな伸びを示している。一方で、これらの歳出を賄うべき保険料（税）収入の伸びが低かったこと等が、赤字額拡大の要因であると思われる。				
	保険料(税)収納率は平成 4 年度から 21 年度まで 18 年連続して前年度を下回っていたが、22 年度に 19 年ぶりに上昇に転じ、23 年度、24 年度と前年度実績を上回っている。				

問合せ先：福祉保健部 国保援護課 国保指導担当 直通 055-223-1466 県庁内線 3263